

【LINE】「LINE ビジネスコネク」

、導入実績に応じてパートナーをランク認定・表彰する「LINE ビジネスコネク

パートナーアワードプログラム」を開始

2017.02.23 LINE

LINE株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：出澤 剛）は、同社が運営するコミュニケーションアプリ「LINE（ライン）」の公式アカウントの各種機能を企業向けにAPIで提供し、カスタマイズして活用できる法人向けサービス「LINE ビジネスコネク」 <http://lbc.line.me> において、その導入実績に応じてパートナーをランク認定・表彰する「LINE ビジネスコネク

パートナーアワードプログラム」を開始いたしますので、お知らせいたします。

LINEでは、国内MAU（月間アクティブユーザー数）6,600万人を超える「LINE」の豊富なユーザー基盤とアクティブ率の高さを活かし、様々な形態で企業と消費者を繋ぐマーケティングプラットフォームとしての利用を推進しています。その中で、「LINE ビジネスコネク」は、企業・サービスによるLINEアカウントの多様性ある活用を目的に、アカウントの各種機能を企業向けにAPIで提供し、各企業がカスタマイズできるサービスです。ユーザーの同意のもと、企業の持つ既存のデータベースや、自社システムとLINEアカウントを連携させることで、属性や利用履歴などをもとに個別のユーザーごとに最適化されたメッセージ配信を実現し、メッセージ配信ツールとしての域を超え、顧客管理（CRM）ツールや、業務ソリューションツールとしての利用も可能になります*¹。

*1：LINEでは、LINEアカウントに紐付いた各企業の顧客データを保持することはありません。

2014年2月に「LINE ビジネスコネク」の構想発表を行い、同年7月に初案件となる株式会社リクルートジョブズ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：柳川 昌紀）の「パン田一郎」が公開、その後、順次企業・サービスに導入が進み、本日時点で、累計163案件が開設されています。また、「LINE ビジネスコネク」では導入企業が独自にシステムの開発・改修が必要となることから、開発負担の軽減や導入のスピード化を図ることを目的に、「LINE ビジネスコネク」対応ソリューションを提供する企業を公式パートナーとして認定する「LINE ビジネスコネク

パートナーアワードプログラム」を同年10月より開始しています。現時点で13社の公式パートナーを認定しており、LINEからの積極的な開発・営業の支援も行うなど、連携を強化しています。

そしてこのたび、「LINE ビジネスコネク」の導入および対応ソリューション開発のさらなる推進を目的に、公式パートナーの中から前年度の導入実績に応じてランク認定・表彰する「LINE ビジネスコネク

パートナーアワードプログラム」を開始いたします。「LINE ビジネスコネク

パートナーアワードプログラム」は、対象期間の1) 開設アカウント数（期間内に終了している案件を除く）、2)売上実績の2つの審査基準で順位付けを行い、その順位の合計数が少ないパートナー上位2社を最上位のプラチナパートナー、続く3社を次点のゴールドパートナーとして認定・表彰いたします。認定・表彰各社には、そのランクに応じて、営業支援・開発支援・機会提供などの特典付与を行います。

※評価基準および認定・表彰社数は、来年度以降に変更する可能性があります。



また、「LINE ビジネスコネク

パートナーアワードプログラム」の昨年の集計を行った結果、2017年度のプラチナパートナーとして、デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役会長CEO：矢嶋 弘毅）、株式会社セールスフォース・ドットコム（本社：東京都千代田区、代表取締役会長兼社長：小出伸一）の2社が決定いたしました。

さらに、同ゴールドパートナーとして、株式会社オプト（本社：東京都千代田区、代表取締役社長CEO：金澤 大輔）、電通アイソバー株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長（CEO）：得丸 英俊）、トランスコスモス株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長兼COO：奥田昌孝）の3社が決定いたしました。



LINEでは、今後も様々なメニューを通じて、企業とユーザーの双方にとって価値のある情報接点を提供し、コミュニケーションインフラとして多様な活用の可能性を広げてまいります。